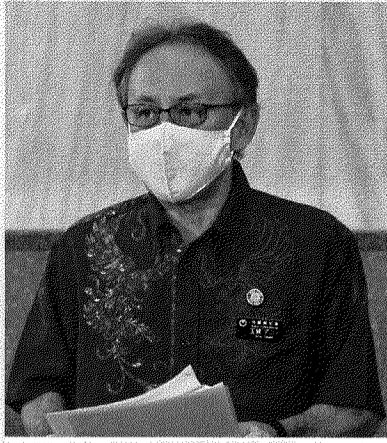


# 玉城デニー知事がサンゴ移植許可を撤回

## 農水相の執行停止によるサンゴ移植の強行糾弾



記者会見するデニー知事

玉城デニー知事は、7月30日、辺野古埋立てのためのサンゴ移植について、沖縄防衛局に出していた特別採捕許可を撤回しました。

沖縄防衛局は、県が移植を許可するにあたって付した、サンゴの生残確率を高めるため高水温期や台風時期を避けることなどの条件を守らずに移植作業を強行し、県の行政指導にも従わなかったためです。

最高裁でも5人の裁判官のうち2人の裁判官が、サンゴの特別採捕に反対という沖縄県の主張にそった反対意見を表明していることも重要です。

また、軟弱地盤の改良工事に伴う設計変更申請をデニー知事が不承認にすれば、辺野古新基地建設は不可能となります。

その後、沖縄防衛局は、県の撤回に対して、農水相に不服審査請求と執行停止を申し立てました。8月5日、農水相が執行停止を認めたことは、サンゴの保護や水産資源の保護培養に逆行し、地方自治を侵害する暴挙で許されません。

菅政権は、県民投票で示された辺野古新基地反対の沖縄の民意に従い、辺野古新基地建設を断念し、直ちに普天間基地を運用停止、閉鎖、返還すべきです。



6月3日 津堅島米ヘリ不時着事故調査



6月8日 津堅島米軍ヘリ不時着 外務省抗議



6月8日 津堅島米軍ヘリ不時着 防衛局抗議



6月12日 うるま市米軍貯油施設汚染水流出調査



6月18日 真嘉比川の浸水被害調査と県交渉



6月18日 県道38号線の災害調査 中部土木事務所長が対応



7月25日 ビニールハウス台風被害調査



7月15日 渡名喜島沖米ヘリコンテナ落下 外務省抗議 同 防衛局抗議



### 渡名喜島沖合における米軍ヘリコプターからコンテナ落下事故に関する意見書・決議

7月13日午後0時30分頃、渡名喜島沖合海上に、第1海兵航空団所属のCH53E大型輸送ヘリコプターが、吊り下げ輸送中の鉄製コンテナを落下させる事故が発生した。入砂島からの輸送中の事故は、広大な訓練空域・水域が存在する本県で、陸でも海でも危険と隣合わせの生活を強いられている。7月26日臨時議会を開催して、下記の内容で意見書・抗議決議を全会一致で採択しました。

記

- 1 事故の原因、経緯等を徹底的に究明し、その結果を速やかに県民に明らかにすること。
- 2 事故発生時の連絡体制を厳格に運用し、迅速かつ正確な情報提供を行うこと。
- 3 ヘリコプターによるつり下げ輸送や訓練を中止すること。
- 4 米軍所属軍用機の整備・保守点検体制を徹底的に見直し、その結果を公表し、実効性のある安全管理と再発防止に務めること。
- 5 訓練空域・水域の見直しも含め、日米地位協定を抜本的に改定すること。

### うるま市津堅島における米軍ヘリコプターの不時着に関する意見書・決議

6月2日午後11時頃、第1海兵航空団所属のUH1Y多用途ヘリコプターがうるま市津堅島の畑に墜落した。民家から約120メートル離れた現場で、1歩間違えば人命にかかわる重大事故につながりかねないと、沖縄県議会は、6月定例会開会中の6月28日に意見書、抗議決議を全会一致で採択しました。

下記は要請内容です。

記

- 1、原因を徹底的に究明し、その結果を速やかに県民に明らかにすること。
- 2、民間地上空での米軍機の飛行・訓練を中止すること。
- 3、米軍所属軍用機の整備・保守点検体制を徹底的に見直し、その結果を公表し、実効性のある安全管理と不時着の再発防止に務めること。
- 4、航空機騒音規制措置に係る夜間飛行訓練制限の厳格な運用を図ること。
- 5、日米地位協定を抜本的に改定すること。

渡久地修県議が、7月9日ド

イツで開催された「第5回反基地・反戦国際会議」で、沖縄の米軍基地問題についてビデオで報告をしました。

下記のYoutubeからご視聴頂けます。ぜひご確認ください。

<https://youtu.be/C0Dtrc4DP6A>

